



平成29年度

堀繁先生 による

「景観からの道づくり」講習会 In 名古屋

堀繁 講話集
景観からの道づくり

景観から学ぶ道路景観の理解と実践



財団法人 道路環境研究所

日 時 : 平成29年11月14日(火) 13時00分~16時30分

※開場・受付開始は12時20分

場 所 : ウィンクあいち 5階「小ホール」

1. 対象者 : 国、地方公共団体、各高速道路会社、建設コンサルタント、大学等に所属、若しくは地域にお住まいの方などで、道路景観やまちづくりに関心をお持ちの方
2. 参加人員 : 約120名
3. 参加費 : 4,000円(テキスト代含む) ※前払い、銀行振り込み
4. テキスト : 「景観からの道づくり」堀繁講話集
5. 講習内容 : 景観の基礎、地域らしさを豊かにする道づくり、街路や道の駅の魅力づくり 他
6. 申込み : 財団ホームページ内の「講習会・セミナー」サイトよりお申込み下さい。

日本みち研究所ホームページ : <http://www.rirs.or.jp/>

インターネットによる申し込みが出来ない場合、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

道は車と人を移動させるだけでなく、地域や町を見る「視点」であり、人が地域と触れ合う「場」でもある。そうであるなら道づくりは、景観からも発想されてしかるべきである。本講習会では、景観の基本的考え方に基づき道路景観を整理し、その上で、地域らしさを豊かに表現する道づくり、活性化(集客)のための街路の魅力づくり、街路や道の駅の魅力づくりなどを、わかりやすく解説頂きます。

■後援: 公益社団法人 土木学会 中部支部・一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中部支部

■主催: 一般財団法人 日本みち研究所

問い合わせ先: 一般財団法人 日本みち研究所 担当: 調査部 見明、降幡

URL: <http://www.rirs.or.jp/> TEL: 03-5621-3123 FAX: 03-5621-3153 E-mail: furihata@rirs.or.jp



土木学会認定 CPD プログラム(3.3 単位)・建設コンサルタンツ協会認定 CPD プログラム(3.33 単位)

「景観からの道づくり」講習会 プログラム

時 間	講 演 テ ー マ 、 講 師 他
12:20~13:00	受 付
13:00~13:05 (5分)	開 会 主催者挨拶 (一財)日本みち研究所 常任参与 杉崎 光義
13:05~16:30 (205分)	<p>「景観からの道づくり」について 東京大学 アジア生物資源環境研究センター 堀 繁 教授</p> <p>道は車と人を移動させるだけでなく、地域や町を見る「視点」であり、人が地域と触れ合う「場」でもある。そうであるなら道づくりは、景観からも発想されてしかるべきである。本講習会では、景観の基本的考え方にに基づき道路景観を整理し、その上で、地域らしさを豊かに表現する道づくり、活性化(集客)のための街路や道の駅の魅力づくりなどを、わかりやすく解説する。</p>
途中休憩 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> * 景観の基礎 (1) 目で見える景観 * 景観の基礎 (2) 頭で見える景観 * 景観から捉えた道路 * 都市間道路と景観 * 街路と景観 * 地域らしさを豊かにする道づくり * 活性化(集客)のための街路や道の駅の魅力づくり
	質疑応答 (10分程度)
16:30	閉 会

■案内図



(JR・地下鉄・名鉄・近鉄) 名古屋駅より

● JR名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

● ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを経由 徒歩8分

■ ウィンクあいち (愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

道路関係者必携の道路デザインの解説書刊行!!

道路のデザインー道路デザイン指針(案)とその解説ー (H17.7刊行) および
景観に配慮した防護柵整備ガイドライン (H16.5刊行) の改定版

“平成29年11月中旬刊行予定”

【書籍情報(予定)】

書籍名：道路のデザインー道路デザイン指針(案)とその解説ー
編 著：道路のデザインに関する検討委員会
発 行：一般財団法人 日本みち研究所
定 価：4,500円（税別）
出版社：株式会社 大成出版社

書籍名：景観に配慮した道路附属物等ガイドライン
編 著：道路のデザインに関する検討委員会
発 行：一般財団法人 日本みち研究所
定 価：3,500円（税別）
出版社：株式会社 大成出版社

【改定にあたって】

「道路デザイン指針(案)」(平成17年4月策定)及び「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」(平成16年3月策定)の作成から10年以上が経過し、景観やデザインに配慮した道路整備が一定程度進んできました。

一方で、暫定的な整備を行う際や、防護柵以外の道路附属物を含めた調和等に課題がみられる事例があります。

このため、内容の更新や充実が必要な部分を見直し、インバウンド観光の増加による道路のデザインへの要請の高まり等の状況を踏まえ、「道路デザイン指針(案)」、「道路のデザインー道路デザイン指針(案)とその解説ー」及び「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」の改定を目的に、天野光一日本大学教授等の学識経験者や国土交通省からなる「道路のデザインに関する検討委員会」(委員長：天野光一 日本大学教授)において検討を重ね、取りまとめたものです。

■問い合わせ先：株式会社 大成出版社 (<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>)
TEL 03-3321-4131 FAX 03-3325-1888
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11

【目次構成(予定)】

▼ 道路のデザイン－道路デザイン指針(案)とその解説－

はじめに

原論編

第1章 思想

- 1-1 美しい道路づくりの意義と必要性
- 1-2 美しい道路づくりとは

第2章 知識

- 2-1 道路の形状特性とデザイン
- 2-2 道路の利用特性とデザイン
- 2-3 道路の社会特性とデザイン

第3章 技術

- 3-1 道路デザインの技術

第4章 実践のイメージ

実践編

第1章 道路デザインの目的と方向性

- 1-1 道路デザインとは
- 1-2 道路デザインの目的と対象
- 1-3 道路デザインの方向性

第2章 道路デザインの進め方

- 2-1 道路デザインの心得
- 2-2 道路デザインの手順
- 2-3 道路デザインの表現方法

第3章 地域特性による道路デザインの留意点

- 3-1 山間地域における道路デザイン
- 3-2 丘陵・高原地域における道路デザイン
- 3-3 水辺における道路デザイン

- 3-4 田園地域における道路デザイン
- 3-5 都市近郊地域における道路デザイン
- 3-6 市街地における道路デザイン

第4章 構想・計画時のデザイン

- 4-1 道路デザイン方針の設定
- 4-2 構想・計画時における道路デザインの重要性
- 4-3 地方部の道路の計画
- 4-4 市街地の道路の計画
- 4-5 道路空間の再構築
- 4-6 現道拡幅の際の考え方
- 4-7 他事業との連携

第5章 設計・施工時のデザイン

- 5-1 設計・施工にあたっての基本的な考え方
- 5-2 土工設計
- 5-3 橋梁・高架橋の設計
- 5-4 トンネル・覆道等の設計
- 5-5 車道・歩道及び分離帯の設計
- 5-6 ユニバーサルデザイン
- 5-7 交差点等の設計
- 5-8 休憩ポイントの設計
- 5-9 環境施設帯の設計
- 5-10 道路附属物等の設計
- 5-11 植栽の設計
- 5-12 色彩の設計
- 5-13 暫定供用を予定する道路の設計
- 5-14 施工時の対応
- 5-15 既存道路におけるその他の景観改善

第6章 管理時のデザイン

- 6-1 維持管理
- 6-2 景観の点検と地域との関わり
- 6-3 関係者との協力体制の構築と支援
- 6-4 植栽管理

第7章 道路デザインのシステム

- 7-1 一貫性の確保
- 7-2 技術力の活用と向上
- 7-3 デザインにかかる仕組みの確立

事例編

- 1. 日光宇都宮道路
- 2. 仙台の大通り
- 3. 福島西道路
- 4. 大手前通り

参考資料 役割と使い方

図版一覧

参考文献一覧

▼ 景観に配慮した道路附属物等ガイドライン

第1章 ガイドラインの概要

- 1-1 ガイドラインの目的と役割
 - 1-1-1 ガイドラインの目的
 - 1-1-2 ガイドラインの役割
- 1-2 適用する道路と道路附属物等の種類

第2章 道路附属物等の景観的配慮の考え方

- 2-1 景観的配慮の基本理念
- 2-2 沿道の特性と道路の景観
 - 2-2-1 市街地・郊外部の道路景観
 - 2-2-2 自然・田園地域の道路景観
- 2-3 景観的な配慮が特に必要な地域・道路

第3章 道路附属物等のデザイン

- 3-1 防護柵
 - 3-1-1 防護柵設置の判断と対応
 - 3-1-2 防護柵のデザイン方針
 - 3-1-3 防護柵の色彩選定
 - 3-1-4 視線誘導への配慮
- 3-2 照明
 - 3-2-1 車道照明柱のデザイン方針
 - 3-2-2 歩道照明柱のデザイン方針
 - 3-2-3 照明柱の色彩選定
 - 3-2-4 夜間景観(照明)の方針
- 3-3 標識柱
 - 3-3-1 標識柱のデザイン方針
 - 3-3-2 標識柱の色彩選定
- 3-4 歩道橋
 - 3-4-1 歩道橋のデザイン方針
 - 3-4-2 歩道橋の色彩選定
 - 3-4-3 歩道橋の記名表示

- 3-5 その他の道路附属物等
 - 3-5-1 遮音壁
 - 3-5-2 落下物防止柵
 - 3-5-3 防雪柵
 - 3-5-4 ベンチ
 - 3-5-5 バス停上屋
 - 3-5-6 視線誘導標
 - 3-5-7 立入防止柵
 - 3-5-8 道路反射鏡
 - 3-5-9 舗装・路面への表示
- 3-6 道路附属物等のデザイン調整
 - 3-6-1 同じ種類の道路附属物等の形状・色彩の統一
 - 3-6-2 近接して設置される他の道路附属物等との調和
 - 3-6-3 道路管理者間での調整
 - 3-6-4 整備時期のずれについての対応
 - 3-6-5 道路占用物件
- 3-7 コストと維持管理
- 3-8 暫定供用時の景観検討
- 3-9 道路附属物等のデザイン(まとめ)

第4章 景観に配慮した道路附属物等整備の進め方

- 4-1 道路附属物等に係るマスタープランの策定
 - 4-1-1 マスタープランの定義と策定目的
 - 4-1-2 マスタープランの内容
 - 4-1-3 マスタープランの対象範囲
 - 4-1-4 マスタープランの策定主体

- 4-2 マスタープランに基づく道路附属物等の選定
 - 4-2-1 設置する道路附属物等の検討と選定
 - 4-2-2 マスタープランがない場合の当面の対応
- 4-3 地域意見のとりまとめ
 - 4-3-1 道路附属物等に係るマスタープランの策定段階
 - 4-3-2 道路附属物等の選定段階
- 4-4 事後評価の実施
 - 4-4-1 整備実施直後の評価項目
 - 4-4-2 整備実施から数年後の評価項目
 - 4-4-3 マスタープランの修正・調整

参考資料

- 1. 役割と使い方
- 2. 景観の種類
- 3. 色彩の基礎知識
- 4. 道路附属物等の現状
- 5. 夜間景観ガイドライン等の事例
- 6. 車道混在・自転車通行帯表示のローカルルールの設定事例
- 7. 防護柵の種類と形式
- 8. 道路附属物等関連基準類一覧